

路政苦慮の一つ

眞 家 生

時局匡救町村土木事業の實施せらるゝに當り技術方面は一應扱て置き先づ事務方面に於て一つ頭を悩ましたことは登記關係の手續であつた。

農村振興土木事業殊に道路事業に於ては其の用地の登記手續が速に完了し得るや否やを疑問とした。道路敷地の買収其の他の處分に伴ふ登記手續等に關しては道路法施行當時よりしばしば市町村當局に對し、通牒を發し又は講習會等を開催し隨分指導監督をしてゐた譯ではあつたが、どうも完全に、然も速に之等の手續が進められないことを始終遺憾に感ずると共に常に頭を悩ましてゐた問題であつた。

本縣に於ける「農村振興土木事業の補助金は敷地買収登記を完了せざれば之れを交付せず」としたのである。かゝ

る取扱としたことに因つて尙更前述の問題に關して頭を悩ましたのであつた。

登記事務を前提として必要なことは、土地臺帳又は圖面の閱覽、土地臺帳謄本の下付、分合筆の手續であるが、この所管廳たる稅務署は事務繁忙を極むる爲、なか／＼容易に謄本の下付又は分合筆の取扱をやつて呉れないのが例であつた。今一つ面倒なのは登記所で登記官吏は裁判官式と云ふのか、やはり隨分官僚式があつて困ることが多いことである。

時局匡救事業の實施は年度内完了といふ時限が定められてゐる。従つて此の期限内に工事を完了せしめなければならぬと同時に登記手續をも完結せしむることゝしたのであ

る。それで、從來の様な稅務署や登記所の取扱振りでは、期限内に此等の手續を完了せしむることは不可能事である。それで、先づ稅務署と登記所に對しては便宜と援助を與へて欲しい。そして申請は速に取扱つて貰ひ度いといふことを知事から稅務署や裁判所長に依頼した。

そして又一面市町村當局に對し土地買収、寄附、交換、交付等の道路敷地處分並登記關係の手續一切を詳細印刷して配布した。

以上の努力によつて稅務署及登記所は多大の諒解を得て速に取扱つて呉れるし、又市町村當局も之等の手續を會得して手續を立てたので、當初心配した程でもなく總ての手續が順調に進んだことは時局匡救事業施行上慶賀すべき事柄であつた。

次にまだ頭を悩ました一つは、農村振興土木事業の性質よりして出來得る限りの費用を節減したいことであつた。

殊に登記に當り土地所有者たる農民に於て登記費用を分擔せしむることは窮乏せる農民の苦痛とすることである。

此等農村民の窮乏を救濟する事業に於て苦痛を増加することは爲政者として大いに考慮すべき問題であると思ふ。

それで從來の登記手續を改良して、道路敷地の買収又は寄附受理に關しては道路管理者に於て總て土地所有者に代理して登記囑託をなすこととした。これは市町村當局者としては、手數ではあるが、從來此等の登記手續は多くは町村當局者が書類を作製してゐる例よりせば大した手數の増加にもならない。

即ち道路管理者は、土地所有者又は其の相續人に代つて土地の分合筆登記、所有權保存登記、家督又は遺產相續登記、土地表示及名義人等の誤謬訂正に要する變更又は更正登記、地上權抵當權の抹消登記其の他一切の登記が出来ることとしたのである。従つて此等に要する登録税は、總て不動産登記法及登録税法の規定を適用して、免除せらるることとなつた譯であるから、從來負擔してゐた土地所有者又は起業者の費用は省かるゝこととなつた。この登記に要する登録税の額は決して少額ではないと思はれる。殊に

市街地に於ける土地の家督相續等に因る所有權移轉登記に要したる登録税は随分大きな額であつたのが一文も要らぬことになつたことでも、大した経費節減である。これは土地所有者又は起業者側の言分かも知れぬ。登記所側から云へば損失とでも云ふかも知れぬが、國家經濟から云へば大した差はないと諦めて貰はなければならぬ。

これで當初頭を悩ました官廳關係の交渉も順調に進み土地所有者や起業者の負擔は免除せられたのであるが、未だ解決しない問題が一つ残つてゐるのである。それは土地臺帳謄本下付手数料の免除である。これも土地所有者又は起業者の負擔してゐる費用の一部で、これ亦免除することに努めたいと考慮してゐるのであるが、これは法令の改正を要するので一寸吾等の努力のみでは解決しない問題である。

それで地方長官乃至は土木部課長會議にでも提出して研究を願つた上その議決を以て地租法施行規則第四條改正を其の筋に要求して貰ひ度いと始終考へてゐたのであるが未

だ愚見が容れられないことを遺憾に存じてゐるのである。この際一般關係者の御同意を得て其の機運に向はしめたいと存し筆を寄せた次第である。何卒諸賢の御考究御贊同を求めて己まない。

「地租法施行規則第四條改正案として土地臺帳謄本の交付を受けんとする者は土地の一筆に付十錢の手數料を納め稅務署長に之を請求すべし」の次に左の但書を加ふ。

但し公共團體又は私人に於て公用又は公共用に供する爲に必要な土地の土地臺帳謄本を請求する場合は手數料を免除す。以下略」

巴藤

夜は深し刈藻に踊る水鳥

槍さびのねじめ妙なり釣葱

山梔子花にすたれの灯もるる夕